

JENESYS2020 日 ASEAN 東ティモール・オンライン交流 (スポーツ：ラグビー) の記録

1. 概要

【目的】 ASEAN 諸国および東ティモールのスポーツ関係者、スポーツ教育に関わる青年が、アジア地域におけるラグビー界への日本の貢献（アジア・スクラム・プロジェクト）に関する講義を聞き、スポーツを通じた日本と参加国との親善促進に加え、アジア初のラグビー・ワールドカップをレガシーとして残すことを主目的に、本プログラムを実施しました。

【参加者】 ASEAN 加盟 9 か国および東ティモールのラグビーに関心のある大学生、スポーツ教育について学習している大学生・若手体育教員等 計 335 名

※ASEAN 加盟 9 か国：インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ラオス

【訪問地】 東京都、茨城県、千葉県、福岡県

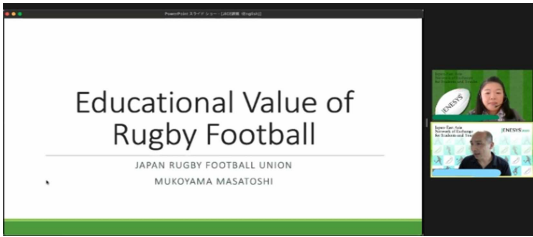
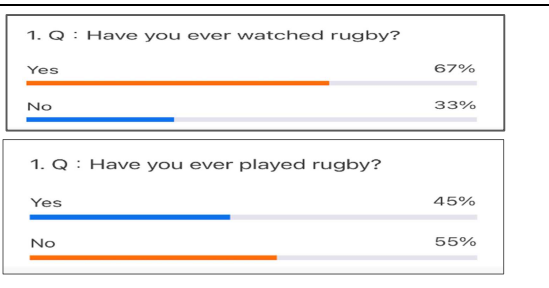
【日程】

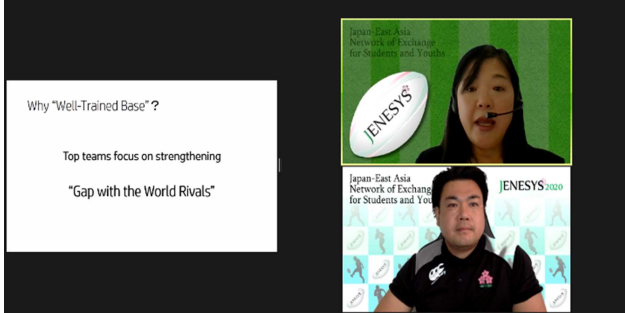
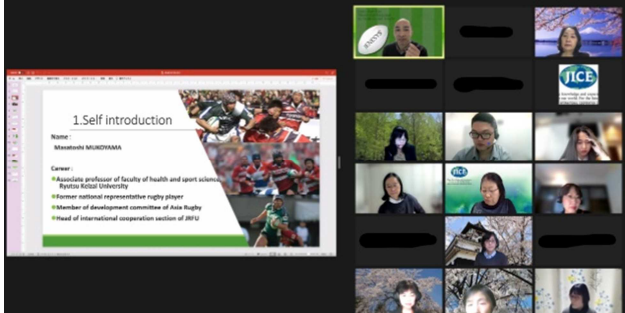
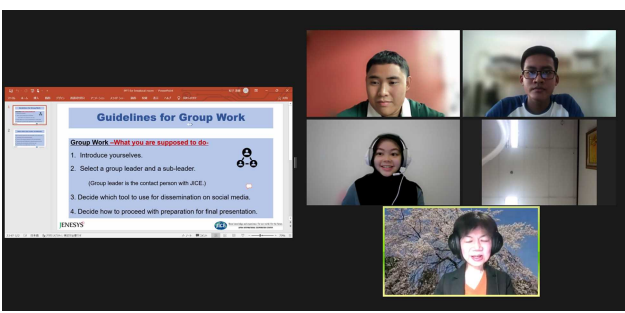
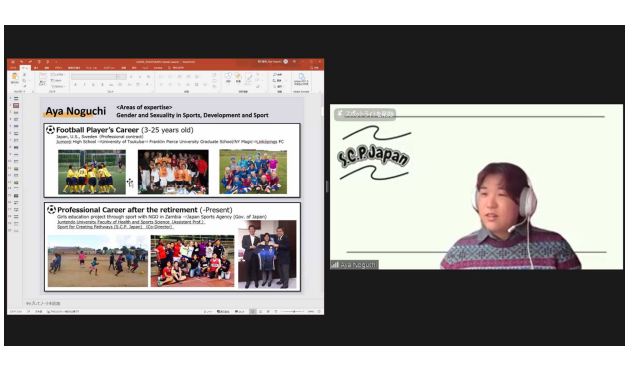
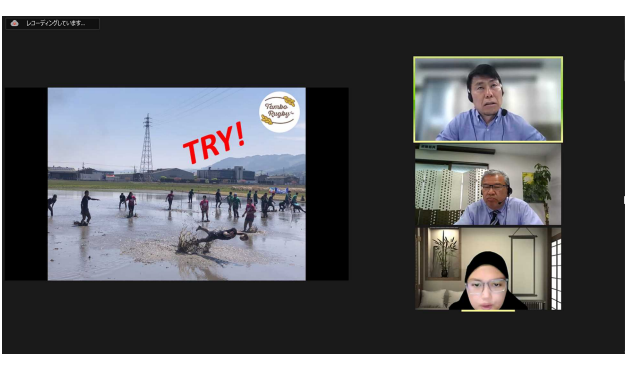
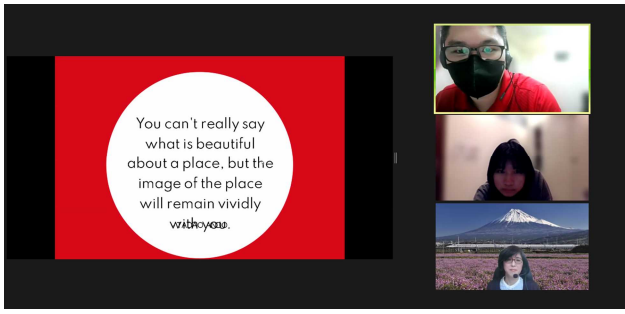
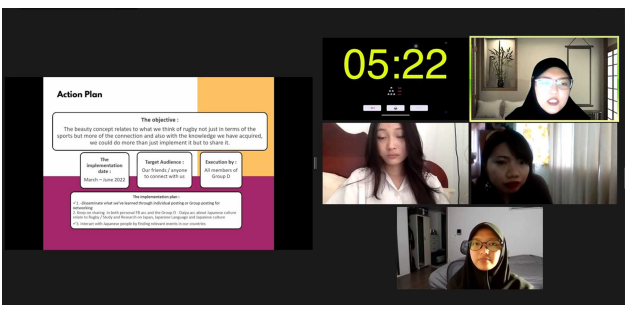
日付 訪問地	内容	参加者の質問・反応
以下 2 日間の参加人数 269 名		
2021 年 5 月 25 日 東京都	【ウェビナー・質疑応答】 1. 「ラグビーの憲章について」 講師：日本ラグビー協会普及育成委員 国際協力部門 部門長 向山 昌利氏 2. 「女子ラグビー選手のコーチング-個別性と一貫性-」 講師：立正大学データサイエンス学部 専任講師、女子 15 人制日本代表パフォー マンスディレクター 宮崎 善幸氏	「コーチと選手との距離感の取り方について」および「スポーツ、特にラグビーの教育的価値を子ども達に伝える有効な方法について」等、多くの質問がありました。
2021 年 5 月 28 日 東京都	【ウェビナー・質疑応答】 1. 「鍛え抜くベース作り」 講師：理学療法士・メディカルトレー ナー、ラグビー15人制日本代表アシス タント S&C 池澤 大輔氏 2. 「アスリートの栄養について」 講師：東京山九フェニックス所属、女	「日本の選手は西洋の選手に比べ小柄だが、トレーニングやコンディショニングにおいてそれをカバーできるのか」、「ラグビープレイヤーとして食べてはいけないもの、食べない方がいいものはあるか」等、多くの質問がありました。

	子 15 人制日本代表 鈴木 実沙紀氏	
以下 5 日間の参加人数 66 名		
2022 年 3 月 1 日	【動画視聴】 1. 外務省挨拶 2. ホストタウンの取り組み 3. ホームビジット体験	3 月 1 日から 3 月 8 日迄の交流プログラム開始冒頭、参加者は、動画を視聴し、日本概要について学びました。
2022 年 3 月 2 日 茨城県	【オリエンテーション】【ウェビナー・質疑応答】 1. オリエンテーション 2. 講義 「Educational Values of Rugby Football」 講師：流通経済大学健康科学部 大学院 スポーツ健康科学研究科 准教授 向山 昌利氏 3. グループディスカッション	ラグビーの試合を含むビデオを流しながら、スポーツの教育的価値、ラグビーの教育的価値に対する注目等について講義がなされ、参加者は熱心に聴講していました。時間が足りなくなるほど多くの質問があり、「日本のラグビー代表チームには他の国籍の選手もいるか」、「一般的に、男性と対等に女性がスポーツするのは難しいが、日本ではどのようにしているか」、「自国でラグビーを普及するにはどうしたらよいか」等の質問がありました。
2022 年 3 月 6 日 千葉県	【ウェビナー・質疑応答、意見交換】 1. 講義 「スポーツにおけるジェンダー」 講師：日本ラグビーフットボール協会普及育成委員会国際協力部門員、順天堂大学女性スポーツ研究センター研究員、一般社団法人 S.C.P. Japan 共同代表 野口 亜弥氏 一般社団法人 S.C.P. Japan 共同代表 井上 由惟子氏 2. 意見交換 3. 質疑応答 4. 講義 「スポーツにおけるセーフガーディング」 講師：同上 5. クイズ 6. 質疑応答	近代スポーツにおける女性参加の歴史と男女平等実現に向けた動きやスポーツにおけるジェンダー問題に存在する「公平性と平等」、「イデオロギーと力関係の 2 つの側面」等の講義の後、国別のグループに分かれ、自国でのスポーツにおけるジェンダー問題を話し合いました。質疑応答では多くの質問があり、参加者の関心の高さがうかがえました。 2 番目の講義では、セーフガーディングの必要性や、施策の紹介の講義の後、講師からクイズが出され参加者は積極的に参加していました。自国の問題点や事例等を参加者がコメントに書き込等双方向のコミュニケーションが活発に行われた講義でした。
2022 年 3 月 7 日 福岡県	【ウェビナー・質疑応答】 1. 講義 「九州における田んぼラグビーの取り	最初の講義では、「田んぼラグビー」が珍しいため、参加者から、「とても興味深かった」と感想がありました。また地域を活性化す

東京都	組み」 講師：筑水建設株式会社 常務執行役員 真鍋 弘氏 株式会社筑水キャニコム 中山 淳氏 2. 質疑応答 3. 講義 「スポーツ医学からみるラグビー」 講師：東京医科歯科大学 整形外科 助教授 大関 信武氏 4. 質疑応答	るためにスポーツが使われた点も関心が高かったようです。「プレー中、意図せず接触したことがハラスメントととられることはないか」、「耳が聞こえない人たちが参加できるラグビーはどのように実施されるか」等の質問がありました。 2 番目の講義では、スポーツ障害の予防方法に関心が高かったようで、多くのコメントがチャットに寄せられました。「ラグビーでよく肩を脱臼するが、脱臼の際はどのように処置をするのが一番よいか」、「スポーツ練習開始前のストレッチは、動的と静的のどちらから始めるのがよいか」等の質問がありました。
2022 年 3 月 8 日 東京都	【ワークショップ】【報告会】 1. 振り返り 2. ワークショップ 3. アクション・プラン提出 4. 発表 5. 講評 日本ラグビーフットボール協会 普及育成部門、国際協力担当 永田 為九郎氏	プログラム全体を通しての学びからグループに分かれ、今後 3 か月以内に実施するアクション・プランを策定し、発表しました。

2. 記録写真

	
2021 年 5 月 25 日【ウェビナー・質疑応答】講義	2021 年 5 月 25 日【ウェビナー・質疑応答】講義
	

2021 年 5 月 25 日【ウェビナー・質疑応答】講義	2021 年 5 月 25 日【ウェビナー・質疑応答】講義中に実施した参加者へのアンケート結果
	
2021 年 5 月 28 日【ウェビナー・質疑応答】講義	2021 年 5 月 28 日【ウェビナー・質疑応答】講義
	
2022 年 3 月 2 日【ウェビナー・質疑応答】講義	2022 年 3 月 2 日【ウェビナー・質疑応答】グループディスカッションの様子
	
2022 年 3 月 6 日【意見交換】	2022 年 3 月 7 日【ウェビナー・質疑応答】
	
2022 年 3 月 8 日【ワークショップ】	2022 年 3 月 8 日【報告会】アクション・プラン発表の様子



3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 東ティモール 参加大学生

参加前は、今日のウェビナーはラグビーの技術的なことを話し合うのだろーと思っていましたが、「One for All and All for One」をチームとして成し遂げるために、アスリート各々が成長するために助け合う精神など、多くのことを学ぶことができました。多くの価値観と道徳的精神を学べたことに自分自身驚いています。

◆ ブルネイ 参加社会人

ラグビーについて様々な角度から知識を深め、理解することができました。ありがとうございました。

◆ 東ティモール 参加大学生

本日の講演を聞いて、スポーツに対する視点が大きく変わりました。向山氏は、スポーツから学ぶ楽しさの質を強調しており、実際に「楽しくなければスポーツではない」と仰っていました。私は、スポーツの専門家からスポーツは楽しんで行うものだというこれまでと違う視点を知り、驚きました。今、私は、スポーツは身体を動かすだけのものではなく、心を豊かにし、もっと多くの価値があるものだと思っています。このような経験をさせていただき心より感謝申し上げます。

◆ シンガポール 参加大学生

最初の講演で、ラグビー・ワールドカップ 2019 の様子を再度見たことは良かったです。私はラグビー・ワールドカップ 2019 に参加していましたが、その経験は忘れることができない大切な宝物と言える思い出です。

◆ カンボジア 参加大学生

この JENESYS 交流プログラムの旅で、それぞれの講義から多くの知識を得ることができました。皆さんとてもフレンドリーで、この JENESYS ファミリーとの新しい経験は非常に印象深いものだったと感じています。とても楽しみながらプログラムの活動を行い、他国の新しい友達を作ることができました。プログラムの最初から最後まで、メンバー同士で話し考えを共有し合い、助け合い

ました。またグループのメンバーも私も、日本で実際に会ってプログラムに参加したかったですが、悲しいことにパンデミックのためオンラインでの開催となりました。最後になりますが、JENESYS ファミリーの皆さんに敬意と感謝をお伝えしたいです。日本で行われる JENESYS プログラムに参加する機会が訪れることを願っています。ありがとうございました。

◆ ブルネイ 参加大学生

日本についてもっと知りたいと思いました。また、他国の参加者と交流し、新しい友人と出会うことは素晴らしい経験でした。プログラムの向上については、実際の交流が一日でも早く来るとよいと願っています。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 講師

今日は各国の参加者の表情が実際に見られない点が残念でしたが、質問を沢山頂きましたのでとても嬉しく、また私自身も学びの場となりました。

◆ 講師

運営の皆様のサポートのおかげで安心して講義を行うことができました。コンテンツ作成の面でも、参加者の特性に沿って適切なアドバイスをいただくことができ、より良い内容作りのために活かすことができました。

◆ 講師

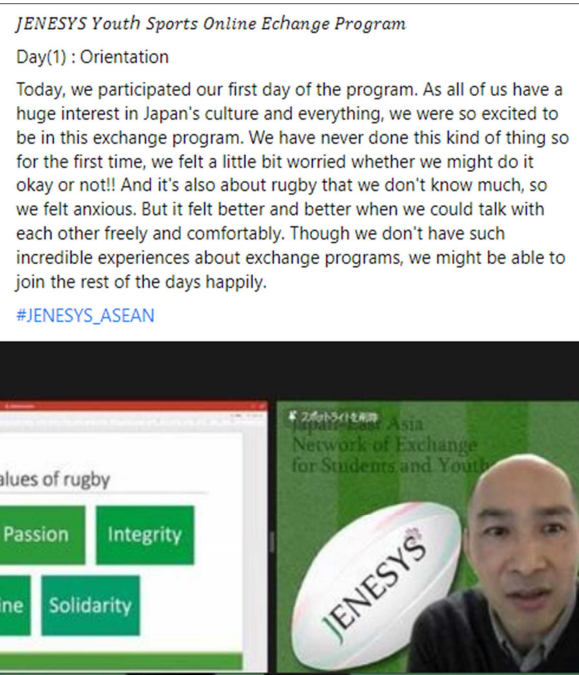
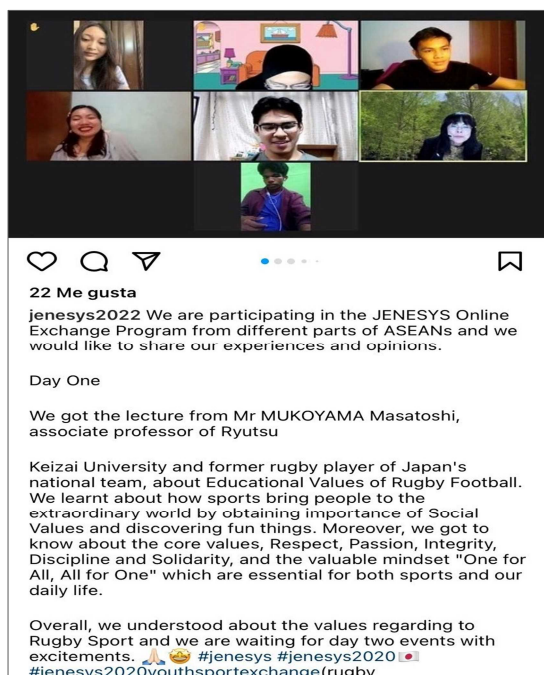
サポートしていただいたおかげで、スムーズに講義することができました

5. 参加者の対外発信

 Alhamdulillah, Had a constant yet meaningful sharing and discussion with Mr. Miyazaki, our coach and also my Japan-East Asia Network of Exchange for Students and Youth #jenesys2020 fellow from Cambodia, Thailand, Vietnam, Laos, and Timor Leste. We learn related to almost anything from rugby sport, life goal, until the current gender and global issues. It dis disclose our mind to get a #globalperspective toward the world's youth nowadays #Jenesys2020 #Kemenpora_RI #JapanYouth #IndonesianYouth Output than Input Coaching Teaching JENESYS Online Program Theme: Rugby progress - success - success Network of Exchange for Students and Youths JENESYS2020	 4 menit · 📍 Today I am very glad because I can join the JENESYS webinar program with the theme of "Rugby" and from here I can increase my general knowledge about rugby, how japanese people play it, how they can develop it and so on. #JENESYS2020
2021 年 5 月 25 日（Facebook）	2021 年 5 月 25 日（Instagram）

宮崎コーチ、カンボジア、タイ、ベトナム、ラオス、東ティモール、日本から参加した JENESYS2020 の参加者達と有意義な意見交換をしました。スポーツ、ラグビー、人生の目標、ジェンダー問題や国際的な昨今の課題まで、幅広く学ぶことができました。現代の若者がグローバルな視点を持って（スポーツに）取り組むことの重要性に気づかされました。

今日はラグビーをテーマとする JENESYS ウェビナーに参加して良かったです。ラグビーの概要について、日本のチームがラグビーに対しどのように取組み、どのようにラグビーが発展してきたかを学ぶことができました。

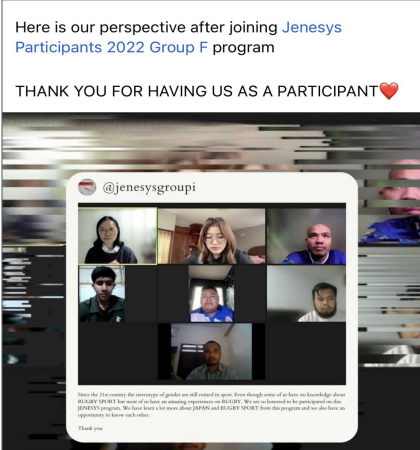


2022 年 3 月 2 日（Facebook）

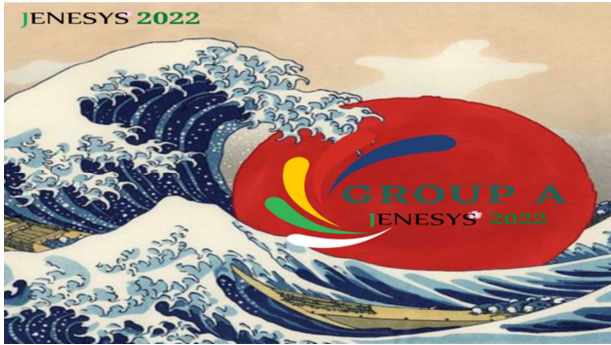
今日は、流通経済大学、元日本ラグビー代表チームメンバーの向山 昌利様からラグビーの教育的価値について講義を受けました。スポーツをすることで、非日常の世界を味わい、社会的価値の重要性を身に着け、楽しみを発見できるということです。さらに重要な 5 つの価値、尊敬、情熱、高潔、自制、結束を知りました。また、一人は皆のために、皆は一人のためにも学びました。これらは、スポーツだけではなく、日常生活にも当てはまるものです。全体的にこれらの価値を理解することができたので、2 日目のプログラムが楽しみです。

2022 年 3 月 2 日（Facebook）

今日は初日のプログラムに参加しました。日本の文化やあらゆることに大きな関心を持っていたので、この交流プログラムに参加しました。私たちにとっては初めての体験なので上手く参加できるかどうか少し心配でした。またラグビーのこともそれ程知っている訳ではなかったのが不安でした。しかし、お互いに自由に話が進められることがわかって楽しくなってきました。交流プログラムでこのような素晴らしい経験はまだ味わったことがなかったのですが、残りの日も楽しく参加できると思います。

 2022 年 3 月 3 日 (Facebook) ラグビーについては何も知りませんでしたが、向山先生の講義のおかげで視野が広がりました。私が一番共有したいのは、ラグビーから得られる価値で、それは尊重、情熱、品位、規律、結束です。講義以外では、私のグループは皆とても素敵な人たちがばかりで良かったです。	 2022 年 3 月 8 日 (Facebook) 私たちを参加者として迎えてくれてありがとうございます。 21 世紀に入ってから、スポーツ界にはジェンダーの固定観念が残っています。私たちの中には、ラグビーについて全く知らない人もいますが、ほとんどの人はラグビーで素晴らしい経験をしています。私たちは、この JENESYS のプログラムに参加できたことをとても光栄に思っています。このプログラムを通して、私たちは日本やラグビーについてより多くのことを学び、またお互いを知る機会を得ました。
---	--

6. 報告会におけるアクション・プランの発表

グループ 1	
	■ 実施理由： JENESYS オンラインプログラム 2022 での素晴らしい経験を他の ASEAN の友人たちに伝えたいです。 ■ 実施時期： 2022 年 3 月 14 日に最初の打ち合わせを行い、2 ヶ月で完成します。 ■ 実施する者：メンバー全員 ターゲット：ASEAN と日本の若者 ■ 実施計画： JENESYS のスポーツ交流プログラムでの体験談を動画にします。(交流プログラムで一番感動したこと、日本で行ってみたい場所や経験して

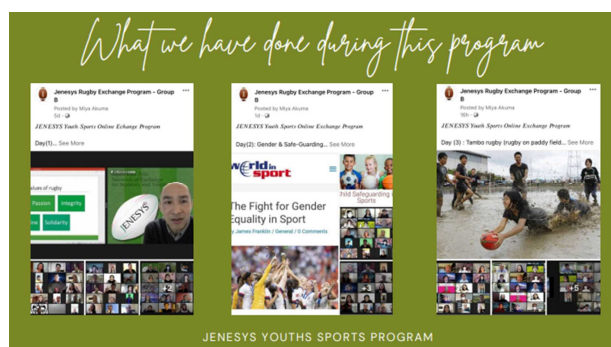


みたい文化、プログラムの1日目、2日目、3日目で学んだこと、自分の国の魅力など)

■ 実施方法：

メンバー各々が、独自の内容の短いビデオを作り、最後にすべてのビデオを SNS 上に投稿します。

グループ 2「JENESYS とラグビーについて学んだことを共有する」



■ 実施理由：

- ・JENESYS プログラム/日本文化/ラグビーに関する知識を人々に対して広め共有するため。
- ・ASEANS 諸国と東ティモールと日本との関係を強化するため。
- ・ラグビーにおける日本の取り組みと日本社会への貢献についてより深く理解するため。

■ 実施時期：3月15日~5月15日

■ 実施する者：グループのメンバー

■ ターゲット：

ソーシャルメディア上のコミュニティ、特にラグビーやスポーツ/日本文化に興味のある人。

■ 実施計画：

・指定されたソーシャルメディアアカウントを作成し、アクション・プラン実施のために同じ Facebook ページを再利用します。

・ラグビー、日本文化、JENESYS に関する有益な投稿をし、指定されたソーシャルメディア（特にラグビースポーツに興味があり、日本について新しい発見をしたい人向け）に投稿します。

■ 実施方法：

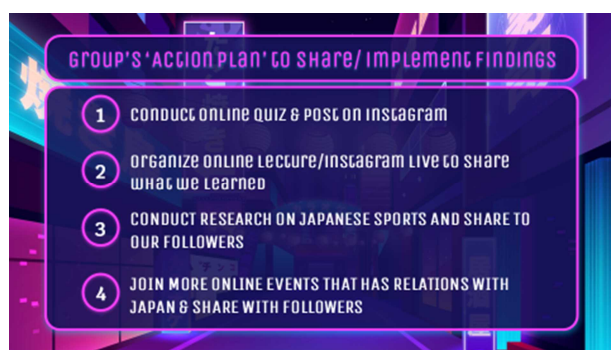
・JENESYS プログラムの4日間に行われた講義を基にラグビーと日本文化に関する情報を収集します。

・テーマ「ラグビー競技と日本文化」に関するより多くの情報源を探します。

・収集・調査情報に基づいて興味を持ってもらえる投稿を作成します。

・掲載指定ソーシャルメディアへ投稿します。

グループ 3



■ 実施理由：

- ・日本と ASEAN 諸国との相互理解を進めるため
- ・両国の若者の友好を強化するため
- ・人と人との友好的な環境を創り出すため

■ 実施時期：

2022 年 4 月 8 日から 6 月 8 日まで

■ 実施する者：グループのメンバー

■ ターゲット：ASEAN 市民

■ 実施計画：

- ・ JENESYS ラグビーオンラインプログラムから学んだことを共有するために、自国でオンラインイベントを企画します。また、日本と日本のスポーツについて理解したことを更に進めていきます。
- ・ ラグビー、ジェンダーにおける平等、田んぼラグビー、スポーツでの障害傷害。
- ・ 日本のスポーツについて研究し、インスタグラムで共有します。
- ・ JENESYS のようなプログラムに対して我々の興味を維持していくために、日本大使館によるオンラインおよびオフラインイベントに参加します。

グループ 4「ラグビーの素晴らしいコンセプト」



■ 実施理由：

「素晴らしいコンセプト」というのは、私たちはラグビーをスポーツとしてだけでなく捉えるのではなく「つながり」という視点の意味です。そして、私たちが得た知識を用いて、その意味を生かすだけでなく発信していくことができると思います。

■ 実施時期：2022 年 3 月から 6 月の間

■ 実施する者：グループのメンバー全員

■ ターゲット：私たちの友達や私たちとつながることのできる人々

■ 実施計画：

- ・ ネットワークを作るために、個人として、ま

Action Plan The objective : The beauty concept relates to what we think of rugby not just in terms of the sports but more of the connection and also with the knowledge we have acquired, we could do more than just implement it but to share it. The implementation date : March – June 2022 Target Audience : Our friends / anyone to connect with us Execution by : All members of Group D The implementation plan : ✓ 1. Disseminate what we've learned through individual posting or Group posting for networking. 2. Keep on sharing in both personal FB acc and the Group D - Daily act about Japanese culture relate to Rugby / Study and Research on Japan, Japanese Language and Japanese culture ✓ 3. Interact with Japanese people by finding relevant events in our countries	た、グループとして SNS に投稿し、学んだことを発信します。 ・ラグビーに関係する日本の文化について、個人のフェイスブックアカウントとグループ「ダイヤ」のアカウントでこれからも発信し、日本、日本語、そして日本文化に関する学習や調査を継続的に行います。 ・自国における関連イベントを探して日本人と触れ合います。
--	---

グループ 5

「プロジェクト TRY : 若者よ、たくましくなろう (Transforming into Resilient Youth)」

1.  	■ 実施理由 : 1. 日本の豊かな文化、歴史、スポーツを浸透させるため 2. 日本が持つ良い価値と日本についての情報を継続的に発信するため 3. ラグビーをそれぞれの地元コミュニティで普及させるため ■ 実施時期 : 2022 年 3 月 9 日～6 月 10 日 ■ 実施する者 : グループのメンバー、ラグビーに興味がある友人、自国の JENESYS 参加者 ■ ターゲット : 一般市民、青少年 (公立・私立の小学生と高校生) ■ 実施計画 : ・ (本プログラムを通じた) 経験と日本に関する気付きを継続的に発信します。 ・ グループメンバー、JICE スタッフ、JENESYS 同窓生とつながり続けます。 ・ (日本を) より理解できるよう日本語を学びます。 ■ 実施方法 : ・ SNS を最大限に利用し、日本に関する興味深い情報を発信します。 ・ 地元のラグビークラブに連絡し、ラグビー普及に努めます。 ・ 日本の貢献やラグビーに関する啓発セミナー、ウェビナーを実施します。
---	---

グループ 6「ASEAN において平等、異文化交流を促進する方法」



Group F

◎Title" Ways to promote equality, cross-cultural exchange in ASEAN"

WHAT : (What are you planning to do?)

- Utilize our existing Facebook page to promote our agenda
- Generate more creative contents, audience-oriented (youths) posts, issues directly related to our concerns such as gender equality, education, environment, etc.
- Use catchy visuals to attract readers
- Have contests and games to increase page engagement
- Organize fund-raising activities to arrange sport events at our community/ rural areas
- Collaborate with the Japanese Embassy to host more cross-cultural events

HOW : (How will you implement your plan?)

- Each member in Group F takes turn to consolidate the results and update on our Facebook page
- Invite friends and family members to like and share our page
- Look out for donors for fund-raising via emails and Facebook posts

■ 実施理由：

- ・日本および他の ASEAN 諸国の文化を促進するため。
- ・特に地方において、スポーツでのジェンダー問題に対する意識を高めるため。
- ・スポーツ（ラグビー等）が、いかにジェンダー格差解消に役立ち、都市居住者と地方居住者間により強い絆を作り出すことが出来るのかに重点を置くため。

■ 実施時期：Facebook への週一回の投稿を 3 か月間続けます。

■ 実施する者：

- ・グループの全員が順番に Facebook に投稿し、各メンバーが自分の時間と目標に応じて他の関連イベントを企画します。
- ・グループリーダーが進捗状況を管理します。

■ ターゲット：

- ・14～35 歳の ASEAN 諸国の若者。特に、友人や自分のコミュニティ内の人々など、より身近な人々を対象にします。

■ 実施計画：

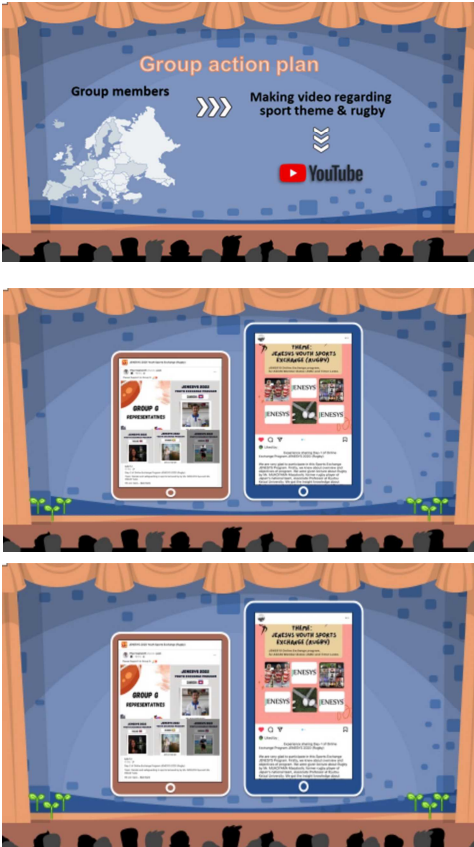
- ・グループの既存の Facebook ページを利用して、課題への取り組みを推進します。
- ・よりクリエイティブなコンテンツ、対象者（若者）向けの投稿を作成し、ジェンダー平等や教育、環境等自分たちの懸念に直接関係する内容を扱います。
- ・投稿の読者を増やすためにキャッチーなビジュアルを使います。
- ・ページへの関心を高めるためにコンテストやゲームを行います。
- ・自分たちのコミュニティや地方でスポーツイベントを行うため、資金集め活動を企画します。
- ・日本大使館と協力し、異文化交流イベントをより多く主催します。

■ 実施計画：

- ・グループのメンバーが順番に結果を集約し、

	グループの Facebook ページを更新します。 ・友人や家族に「いいね！」を押してもらったりページをシェアしたりしてもらいます。 ・E メールや Facebook ページを通して、資金集めのため、寄付を行ってくれる人を探します。
--	--

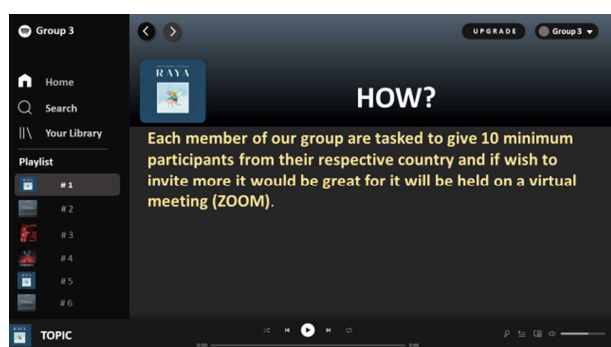
グループ 7「YouTube チャンネルの作成」

	■ 実施理由： 様々な国の友人に対し、日本文化、伝統、スポーツ（特にラグビー）に関する知識を共有するため ■ 実施時期：2022 年 5 月 ■ 実施する者：グループのメンバー5 人全員 ■ ターゲット：ASEAN 諸国の友人 ■ 実施方法： ASEAN 諸国の人たちを対象に、日本の文化、宗教、伝統、スポーツ、テクノロジーについての知識や JENESYS オンライン交流プログラムで学んだジェンダーの平等性について、YouTube の短い動画を作って共有します。
--	--

グループ 8「日本のスポーツ奨励」

	■ 実施理由： ・人気がある ・知識の共有 ■ 実施時期：3 か月以内 ■ 実施する者：グループ全員 ■ ターゲット： ・ASEAN の（今回参加と）別の国の友人たち ・ハッシュタグを偶然見つけた人 ■ 実施計画：Instagram アカウント @jenesys2022 に投稿します。 ■ 実施方法： ・可能であればビデオ投稿 ・週次で投稿
---	--

グループ 9「ラグビー：千年のゲーム～日本が世界に紹介するラグビー～」



■ 実施理由：新しいゲームを開発し、既存の世代に、そして未来の世代に紹介することです。そうすることで、彼らがどんなゲームをやりたいかを選択する機会を増やし、ASEAN 諸国に変化の扉を開くことにもなります。変化を防ぐことはできませんが、常に変化に対応することはできます。それを一緒に作りたと思っています。私たちが手を取り合うことで、この世界をより住みやすく、新しいスポーツが育つ場所にする事ができるのです。

■ 実施時期：6～7月の学期間の休みに開催し、参加者に楽しんでもらえるセミナーにしたいと思います。

■ 参加者：私たちのグループメンバーがファシリテーターとなり、JICE と JENESYS プログラムの協力を得て、参加者にラグビーについて教えてくれる講演者、講師、デモンストレーターを紹介してもらう予定です。

■ ターゲット：年齢を問わず、体を動かすことができる人であれば、誰でも参加できます。

■ 実施計画：ラグビーを知らない国や、ラグビーについてもっと知りたい国から多くの参加者が集まるように、ウェビナー・ワークショップを開催する予定です。また、これは、午前の部（講義）と午後の部（デモンストレーション）に分かれた1日のウェビナー・ワークショップです。

■ 実施方法：グループのメンバーが、各国から最低10名ずつの参加者を集めて開催する予定です。オンライン（ZOOM）で実施するため、それ以上に参加者が増えても対応可能だと思っています。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）